

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	区域まちづくり事業（南区）			事業番号	215-006
担当部署名	南区役所	局		部	総務 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3
			有	取組	地域住民のつながり強化、住民自治の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	南区まちづくりビジョン					
3	事業開始年度	平成 28 年度		点検年度	令和 5 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	南区民	対象数	137,478	単位	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	区民のニーズや区域の実情をふまえながら、区役所が主体的に区域の特性をいかした魅力ある取組を推進することを目的とする。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>区役所が、区民ニーズに柔軟に対応し、地域コミュニティの醸成を図る事業や安全・安心に資する事業などを実施するとともに、区域の環境整備等に区局連携で対応することで、きめ細かなまちづくりを実現する。</p> <p>なお、令和3年度予算から、区域まちづくり事業のうちのハード事業に係る区局連携分予算について、事業所管局へ移管しており、事業費が大きく減少している。</p>				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	委託業務受注者、実行委員会				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	区域の特性や区民ニーズをふまえながら、区役所がより主体的に区域のまちづくり事業を推進					
	当該目標を設定した理由	区域の特性や区民ニーズをふまえたまちづくりの推進のために各事業の実施を決定していることから、事業実施数がまちづくりの推進の指標となるため。				
	目標に対する実績	実施した事業の数				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	事業実施数		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		目標値	30	24	20	
		実績値	33	18		
	達成率	110%	75%			
	当該指標を選定した理由	区域の特性や区民ニーズをふまえたまちづくりの推進のために各事業の実施を決定しているため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	区域の特性や区民ニーズを踏まえ、主体的に事業を企画・実施した件数。				

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	区域まちづくり事業（南区）	事業番号	215-006
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費 (a)	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	171,159	171,159	51,081	23,714	44,410
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債		67,400		
	その他（区民まちづくり基金等）				
	受益者負担金(使用料、手数料等)		15	48	
一般財源	171,159	103,744	51,033	23,714	44,363
14 人件費 (b)	34,090	35,610	35,610	35,610	35,640
15 年間経費(c)=(a)+(b)	205,249	206,769	86,691	59,324	80,050

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	決算				R3	決算		
16	報償費	R3	決算	449	449	使用料及び賃借料	R3	決算	240	240
		R4	予算	1,851	1,851		R4	予算	78	78
	消耗品費	R3	決算	2,932	2,932	工事請負費	R3	決算	6,173	6,173
		R4	予算	3,899	3,852		R4	予算	10,627	10,627
	修繕料	R3	決算	5,404	5,404	備品購入費	R3	決算	151	151
		R4	予算	5,816	5,816		R4	予算	530	530
	役務費	R3	決算	785	785	負担金	R3	決算	2,763	2,763
		R4	予算	1,268	1,268		R4	予算	11,273	11,273
	委託料	R3	決算	4,433	4,433	その他	R3	決算	384	384
		R4	予算	8,440	8,440		R4	予算	628	628

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① 事業実施数	事業	32	18
② 上記①にかかる年間経費	千円	206,769	59,324
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	6,461,531	3,295,778
備考（算出についての説明等）			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	イベント等のソフト事業については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により事業の中止等を行ったため、実施事業数は減少した。一方、ハード事業に係る区局連携分予算について、事業所管局へ移管したため、事業費は大きく減少している。結果として、1事業あたりの経費は大きく減少した。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	各事業の実施については、コロナ禍での区の実情や市民ニーズの変化を的確に把握し、事業規模の縮小・廃止も含めた抜本的な見直しを行わなければならない。そのうえで南区の特色を発信する事業や、南区の課題解決に向けた事業を実施したことで、南区のめざまちづくりの推進に寄与している。
----	--